

練馬支部青年部機関紙

2017年8月号

30歳以下の建設職人に
知って差がつく情報満載!



東京土建練馬支部青年部 東京都練馬区中村北1-6-2 TEL 03-3825-5522 FAX 03-3825-7547

東京土建一般労働組合
練馬支部青年部
青年部長 新島 秀成
編集者 原田 千夏

いっぷく

同日開催! 楽しいイベントで交流広がった1日

サマーBBQ & 夏休み親子工作教室



バーベキューに参加した仲間たち。大勢!

130人でBBQ

7月23日(日)、小金井公園にて、本部青年部主催のバーベキューイベント「SUMMER MEAT in TAMAM(サマーミーティングタマ)」が開催されました。支部から9人、全体では19支部より130人(昨年108人の参加でした。途中雨が降ってきたが、普段話したので

きない他支部の仲間とも楽しく交流しました。ミニゲームは毎年恒例の腕相撲大会ではなく、宝探し&クイズゲーム。豪華景品にみんな張り切って新企画も大成功でした。

参加した新島部長は「曇りのち雨という天候にも負けない盛り上がりで、とても楽しい一日でした。」と振り返りました。

大盛況の工作教室

同日、練馬支部会館では主婦の会主催の「夏休み親子工作教室」が開催されました。子ども35人を含む120人の参加でした。

青年部からは私人お手伝いで参加。受付を担当した木工工作コーナーは、講師のシニア友の会の方々に教わりながら状態しを作るというもので、多くの子どもたちが熱心に工作していました。



教えてもらいながら木工工作。

広間ではレジンアクセサリーやペットボトル万華鏡、レインボールーム、タオルTシャツのコーナーが並び、皆さん思い思いの作品を作っていました。参加者からは「家では出来ない工作が出来た」という声。私はペットボトル万華鏡を作ってみました。和気藹々とした雰囲気でした。仕上がりはあまり



真剣に工作に取り組む子どもたち。



レジンアクセサリーは女子に大人気!

綺麗じゃありませんでした(笑)が、それも手作りの味ですね。お昼は主婦の会特製カレーを振舞っていただきました。とっても美味しかったです!

練馬支部青年部って何??

東京土建練馬支部の**30歳以下**の組合員なら**誰でも**参加OK!
年会費はありません。いろんなイベントをやったり、交流したり...とにかく「楽しく」活動しています!
同じ建設業で同世代の仲間の輪が広がりますよ♪ぜひ気軽に参加してくださいね!



<お問い合わせ> TEL:03-3825-5522 / FAX:03-3825-7547 青年部担当 太田

第2回 城北ブロック会議

交流会にはカレッジ生も参加



他支部の人たちと交流できる貴重な機会です。

7月28日(金)、第2回城北ブロック(板橋・豊島・北練馬の4支部合同)会議が行われ、14人が参加しました。

拡大月間ではブロックで一体感をもつて取り組もうと統一スローガンの策定のほか、10月には4支部合同打ち上げイベントを行おうと話し合いました。

会議終了後には交流会があり、会議に出られなかった人も多く参加したほか、建築カレッジ生も4人参加しました。

支部を越えた交流をはかり、大いに盛り上がりました。



東京芸術座のみなさんと青年部メンバー。

7月10日(月)の青年部会には、東京芸術座の方々が来てくれました。『父を騙す』公演のお知らせを聞き、その後は出演者の方々と練馬駅のダーツバーで交流会をしました。全く違う職種の同世代同士で交流をはかり、興味深いお話もたくさん聞くことができました。

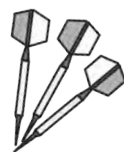
く、店員さんも巻き込んで大いに盛り上がりました。青年部では8月20日この『父を騙す』の観劇会を行う予定です。女優さんと知り合えたのは初めてなので、演技を観させていただくのがとても楽しみです。



白熱するダーツ対決!

食べて、飲んで、投げて

異業種ダーツ交流会



青年部メンバーがポスターになりました!

練馬支部青年部役員紹介

部長 新島 秀成 (早宮分会)
兼 本部青年部執行委員

副部長 柴田 裕樹 (早宮分会)
組織担当

副部長 原田 千夏 (大泉東分会)
教宣担当

書記長 印南 槇 (早宮分会)
財政担当

書記次長 白井 拓哉 (早宮分会)

建設職人まつり開催!

10/1 (日)

昨年は高所作業車、パワーショベル体験を準備し、参加した子供達が行列を作って楽しんでいました。また「丸太切り競争」では精鋭による真剣勝負が行われました。出店コーナーには、沢山の食べ物や木工教室の出店がありました。是非ご参加ください!

青年部機関紙『いっぷく』復刊へ

しばらく休刊になっていた青年部機関紙『いっぷく』の発行を6月から再開しました。

復刊第一号となった6月号ではお伝えすることが多すぎて、ご挨拶にスペースを割けませんでした。改めまして、編集者の原田です。今年度より教宣担当に選任されました。

機関紙の復活という重大な役目を、青年部に入ったばかりの自分が一人で出来るかな?と不安のなか発行した第一号でしたが、ご好評を頂き安心しました。ありがとうございました。

青年部の活性化に繋がるよう、活動状況を楽しくお伝えしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。